

引用文献・参考文献

- 安曇村誌編纂委員会（1997）：安曇村誌，第二巻，歴史上，712p.
- 安曇村誌編纂委員会（1998a）：安曇村誌，第一巻，自然編，718p.
- 安曇村誌編纂委員会（1998b）：安曇村誌，第三巻，歴史下，833p.
- 磯望・山川克己・米澤宏・松原敏子（1980）：岐阜県高原川流域における土石流による岩屑供給と沖積錘の成長速度，地理評，53巻，p.699-720
- 井上公夫・川崎保・町田尚久（2010）：ハヶ岳大月川岩屑なだれ—887年の大規模山体崩壊と天然ダム決壊の痕跡を探る—，地理，55巻5号，口絵，p.1-4，本文，p.106-116
- 『入り四ヶ村書付 第二十七集』（松本市役所安曇支所蔵）
- ウォルター・ウェストン著（1896）・黒岩健訳（1982）：日本アルプスの登山と探検，大江出版社，329p.
- ウォルター・ウェストン著（1896）・青木枝朗訳（1997）：日本アルプスの登山と探検，岩波文庫，青474-1，382p.
- ウォルター・ウェストン著（2016）：ウェストンが残したクライマーズ・ブック，外国人たちの日本アルプス登山紀，信濃毎日新聞社，172p.
- 牛伏川砂防工事沿革史編纂会（1933）：牛伏川砂防工事沿革史，212p.
- 『越信新道細見図』（富山県立図書館中島文庫 中島正文写）
- 及川輝樹（2002）：焼岳火山群の地質，一火山発達史と噴火様式の特徴一，地質学雑誌，108巻10号，p.615-632
- 及川輝樹（2013）：詳細火山データ集，焼岳火山群，産総研地質調査総合センターHP
- 及川輝樹（2015a）：水蒸気噴火で発生する低温火砕流—焼岳大正噴火（1915）とその類例一，地球惑星科学連合2015年大会，SVC47-09
- 及川輝樹（2015b）：御岳火山1907-39年の噴火活動——大正池形成を含む水蒸気噴火，地質学会第122年学術大会講演要旨，T3-O-4
- 及川輝樹・奥野充・中村俊夫（2002）：北アルプス南部，焼岳火山の最近3000年間の噴火史，地質学雑誌，108巻2号，p.88-102
- 及川輝樹・山田久美（2020）：日本の火山に登る，火山学者が教えるおもしろさ，ヤマケイ新書，272p.
- 大塚勉・赤羽由起夫（2008）：松本市安曇，野沢で発生した崩壊（1945年）と梓川断層群の破碎帯，信州大学環境科学年報，30号，p.82-89
- 大塚勉・小田晋（2007）：松本市奈川地区入山の地質と斜面変動，信州大学環境科学年報，29号，p.39-46
- 大塚勉・根本淳（2003）：長野県安曇村梓川流域において1757年に生じた「トバタ」の崩壊と天然ダム，信州大学環境科学年報，25号，p.79-86
- 大日方健（1981）：果たしえなかった信州—越中の捷路松露“塩の道”，仁科路，市史編纂だより，20号，p.2-6., 21号，p.2-8
- 小澤潔（1940）：完全治水に關聯する二三の問題，水利と土木，13巻1号，p.121-125
- 大町市史編纂委員会（1984）：大町市史，第一巻 自然環境，1239p.
- 大町市史編纂委員会（1986a）：大町市史，第三巻 近世，855p.
- 大町市史編纂委員会（1986b）：大町市史，第四巻 近代・現代，1315p.
- 大町ダム工事事務所（1985）：高瀬川の治水利水，49p.
- 小川一・太田勝己（1970）：上高地への道—一般国道158号線ダム関連改良工事報告一，土木学会誌，55巻4号，p.12-22
- 『鹿島川猫ヶ鼻川除御普請絵図』（浅野貢一氏所蔵）
- 柿下愛実・大塚勉（2012a）：長野県松本市安曇稲核地域に発達する風穴の温度変化，信州大学環境科学年報，34号，p.44-51
- 柿下愛実・大塚勉（2012b）：長野県松本市安曇稲核地域に発達する風穴の地質学的成因，信州大学環境科学年報，34号，p.52-57
- 活断層研究会編（1991）：新編日本の活断層—分布図と資料—，東京大学出版会，437p.
- 加藤鉄之助（1912）：第二章 噴火事項蒐録，硫黄岳（焼岳）火山噴火事項調査報告，75号，地震研究所，p.4-16., 東京大学学術機関リポジトリ
- 上高地ネイチャーガイド協議会（2022）：ブラ上高地&槍穂高，4p.
- 神津良子（2012）：長野県の災害写真記録長野県全災害記録，231p.
- 神野忠広・古山利也（2011）：山岳観光地「上高地」の経過と砂防の関わりについて，平成23年度砂防学会研究発表会概要集，p.16-17

- 河合小百合・原山智（2013）：上高地の過去 12000 年間の自然環境，2012 年度山岳科学研究所報告会，信州大学山岳科学総合研究所，p.30-34
- 気象庁：過去の気象データ，
<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>（参照 2025-01-20）
- 『享保十三年秋改松本城下絵図』（松本市所蔵）
- 小池一之（1978）：高原川・神通川にみられる段丘の分布とその形成過程，駒沢地理，13 巻，p.29-53
- 小平孝雄（1932）：焼岳の最近の活動，火山，1 集，4 号，p.52-64
- 小林茂喜（2019）：信越新道「修開」事業の実情，市立大町山岳博物館研究紀要，4 号，p.43-61
- 笹本正治（2003）：災害文化史の研究，高志書院，392p.
- 笹本正治（2017）：災害と牛の伝説：牛伏の寺名から，長野県立歴史館紀要，23 号，p.3-16
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会（2008）：境峠・神谷断層帯の長期評価の一部改訂について，30p.
- 信濃川上流直轄砂防百年史編集委員会（1979）：松本砂防のあゆみ—信濃川上流直轄砂防百年史—，建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所，894p.
- 信濃教育会北安曇部会（1979）：北安曇郡郷土誌稿，第 1 輯，口碑傳説篇，198p.
- 信濃毎日新聞社出版局（2002）：「戌の満水」を歩く，寛保 2 年の千曲川大洪水，206p.
- 島津弘（2022）：長野県，上高地谷における斜面—谷底の土砂供給と地震との関係，2022 年度日本地理学会秋季学術大会表
 要旨
- 清水長正（2012）：日本風穴紀行 1，風穴利用発祥の地 稲核，地図中心，2012 年 5 月号，p.34-35
- 清水長正（2014a）：日本風穴紀行 26，穂高岳周辺の風穴 夏山登山のオアシス，地図中心，2014 年 7 月号，p.26-27
- 清水長正（2014b）：日本風穴紀行 27，信濃大町周辺の風穴 風穴小屋サミットへ向けて，地図中心，2014 年 8 月号，
 p.28-29
- 清水長正（2018）：日本風穴紀行 71，平出・三才山・岩原風穴 初夏の安曇野周辺，地図中心，2018 年 6 月号，p.34-35
- 清水長正（2020）：日本風穴紀行 85，信州小諸の氷風穴 風穴サミットからその後，地図中心，2020 年 2 月号，p.34-
 35
- 清水長正（2021a）：日本風穴紀行 95，小梨平キャンプ場，バスターミナル近く 上高地の風穴，地図中心，2021 年 8 月
 号，p.36-37
- 清水長正（2021b）：日本風穴紀行 98，島々・明ヶ平・中澤・沢渡風穴 梓川溪谷から，地図中心，2021 年 12 月号，p.38-39
- 清水長正・澤田結基編（2015）：日本の風穴—冷涼のしくみと産業・観光への活用—，古今書院，283p.
- 重要文化財旧開智学校資料刊行会（1988）：史料開智学校，第一巻，学校日誌（1），638p.
- 重要文化財旧開智学校資料刊行会（1989）：史料開智学校，第二巻，学校日誌（2），730p.
- 市立大町山岳博物館（2014）：山と人 北アルプスと人とのかわり—人文科学系展示解説書—，常設展「北アルプスの自然
 と人」，149p.
- 震災予防調査会（1918）：震災予防調査会報告，86 号，日本噴火志，上編，236p.
- 曾野綾子（1988）：湖水誕生，中公文庫，640p.
- 立山カルデラ砂防博物館（2006）：異人たちが訪れた立山カルデラ —立山新道と外国人登山—，第 17 回企画展図録，48p.
- 中部山岳国立公園上高地連絡協議会・上高地河床上昇対策検討会（2022）：上高地における河床上昇対策の基本的な考え方と
 実施方針，23p.
- 塚田正公（1985）：波田町の民話，125p.
- 手塚順一郎（1932）：山の寫眞のうつし方(三)，山小屋，7 号，p.144-145
- 東京電力リニューアブルパワーHP
https://www.tepco.co.jp/rp/business/hydroelectric_power/mechanism/dam/list/takase.html
https://www.tepco.co.jp/rp/business/hydroelectric_power/mechanism/dam/list/nanakura.html
 『所々山抜ヶ之事』（松本市立博物館蔵）

- 中島由紀子・大塚勉（2007）：松本盆地西方の梓川河床に露出する断層帯，信州大学環境学年報，29号，p.47-54
- 長野県（1940）：犀川左支薄川筋砂防堰堤工事，水利と土木，13巻3号，口絵，p.1-2
- 『長野縣管轄信濃國安曇郡安曇村村絵図』（長野県立歴史館蔵）
- 長野県砂防課（1972）：長野県の砂防，137p.
- 長野県砂防課（2022）：長野県の砂防，50p.
- 長野県北安曇教育会（1979）：北安曇郡郷土誌稿，第一輯，198p.
- 長野県地質図活用普及事業研究会（2015）：長野県デジタル地質図 2015（DVD）
- 長野県奈良井川改良事務所 HP：薄川
<https://www.pref.nagano.lg.jp/naraigawa/jigyo/gaiyo/susukigawa.html>（参照 2025-01-20）
- 長野県奈良井川改良事務所 HP：女鳥羽川
<https://www.pref.nagano.lg.jp/naraigawa/jigyo/gaiyo/metobagawa.html>（参照 2025-01-20）
- 長野県編（1909 頃）：浅間山噴火記録及焼岳踏査報告書，長野県立図書館蔵
- 長野県松本建設事務所・奈良井川改良事務所（1995）：奈良井川，303p.
- 長野県松本建設事務所（1999）：牛伏川砂防の歴史
- 長野県・岐阜県・国土交通省北陸地方整備局 松本砂防事務所・神通川水系砂防事務所（2020）：乗鞍岳火山噴火緊急減災対策砂防計画，145p.
- 長野地方気象台（1969）：昭和 44 年 8 月 11 日の前線による長野県西部の水害に関する異常気象報告，昭和 44 年度防災業務実施状況報告，3号，18p.
- 長野地方気象台（1988）：信州の気象百年史，—長野気象台創立 100 周年記念誌—，266p.
- 奈川村誌編纂委員会（1992）：奈川村誌，自然編，181p.
- 奈川村誌編纂委員会（1994）：奈川村誌，歴史編，627p.
- NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ（2024）：北アルプスジオガイド穂高岳・涸沢，4p.
- NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ（2024）：北アルプスジオガイド槍ヶ岳・氷河公園，4p.
- 波田町誌編纂委員会（1983）：波田町誌，自然民俗編，703p.
- 波田町誌編纂委員会（1987）：波田町誌，歴史現代編，1373p.
- 服部英雄（1994）：鎌倉街道・再発見，日本史の研究，469号，p.1-26，山川出版社，九州大学学術情報リポジトリより閲覧
- 原山智（1990）：上高地地域の地質，地域地質研究報告，5 万分の 1 地質図幅，金沢(10)，45号，地質調査所，175p.
- 原山智（2007）：上高地物語—その 3 梓川の流路変更と上高地のおいたち，信州大学山岳総合研究所ニュースレター，6号，p.5.
- 原山智（2010）：上高地に 5000 年間存在した巨大せき止め湖—それはどのように誕生し，そして消滅したか？—山岳科学総合研究所ニュースレター，20号，p.6-7
- 原山智（2015）：上高地盆地の地形形成史と第四紀槍ヶ穂高カルデラ-滝谷花崗戦力岩コンプレックス，地質学雑誌，121巻，10号，p.373-389
- 原山智（2021）：ガイドのための上高地・槍穂高ジオハンドブック，上高地ネイチャーガイド協会，119p.
- 原山智・河合小百合（2009）：上高地における学術ボーリング，日本地質学会第 116 回学術講演要旨，p.174
- 原山智・河合小百合（2011）：上高地の生い立ちを語る，信州大学山岳研究所 大町山岳博物館連携企画展解説書，山岳を科学する 2011—その最前線—，p.11-14
- 東筑摩郡 松本市・塩尻市郷土資料編纂会（1975）：東筑摩郡 松本市・塩尻市誌，第四巻，年表・索引，681p.
- 福島立吉口述/長沢武編著（1986）：北アルプス乗鞍物語，ほおずき書籍，247p.
- 『宝暦八年川除普請絵図』（松本市教育委員会蔵）
- 北陸地方整備局（2005）：砂防事業の再評価説明資料 [信濃川上流（梓川上流）直轄砂防事業]，20p.
- 北陸地方整備局大町ダム管理所 HP
<https://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>
- 本郷村誌編纂会（1983）：本郷村誌，1329p.
- 本郷村誌編纂会（1955）：本郷村誌資料，第二集ノ一，浅間温泉編，上，152p.
- 本郷村誌編纂会（1956）：本郷村誌資料，第二集ノ二，浅間温泉編，下，93p.

- 松本砂防工事事務所（1969）：災害当年に撮影した写真アルバム。
- 松本砂防工事事務所（1970）：S44.8.11 出水について，43p
- 松本砂防工事事務所（1971）：高瀬川流域 S44.8.11 災害記録写真集，19p.
- 松本砂防工事事務所（1979）：焼岳噴火記録，28p.
- 松本砂防工事事務所（1984）：奈川土砂災害に学ぶ
- 松本砂防工事事務所（1998）：高瀬川流域情報マップ
- 松本砂防事務所（2003）：松本砂防管内とその周辺の土砂災害，48p.
- 松本砂防事務所（2016）：明治以降の信濃川上流の砂防事業，72p.
- 松本砂防事務所（2023）：松本砂防事務所事業概要
- 松本砂防事務所（2024a）：上高地の砂防，10p.
- 松本砂防事務所（2024b）：松本砂防事業概要（松本砂防事務所管内図）
- 松本砂防事務所 HP：災害にまつわる流域の言い伝え
<https://www.hrr.mlit.go.jp/matamoto/contents/sub/kantan/omosirobook/omosiro6-6.htm>（参照 2025-01-20）
- 松本市（1973）：松本市史，下巻，1030p.
- 松本市（1994）：松本市史，第四巻，旧市町村編，本郷村，p.755-856
- 松本市（1995）：松本市史，第二巻，歴史編Ⅱ，近世，944p.
- 松本市（1996）：松本市史，第二巻，歴史編Ⅰ，原始・古代・中世，921p.
- 松本市（1997）：松本市史，第二巻，歴史編Ⅳ，現代，986p.
- 松本市（2015）：焼岳火山防災マップ，松本市ホームページ
- 松本市（2024）：松本市地域防災計画，資料・様式・参考編，【資料編】，188p.
- 松本市安曇資料館（2006）：トバタの山崩れと大水，江戸時代の天然ダムによる災害，58p.
- 松本市危機管理部消防防災課（2024）：松本市ハザードマップ，40 安曇（稲核）.
- 松本測候所（1923）：続焼岳調査報告，43p.
- 松本測候所（1925）：災害報告，60p.
- 水山高久監修・森俊勇・坂口哲夫・井上公夫（2011）：日本の天然ダムと対応策，古今書院，187p.
- 宮下済雄（1988）：信州ぼたんの寺 玄向寺，宮下済雄写真集，121p.
- 南安曇郡誌改訂編纂会（1956）：南安曇郡誌，第一巻，1030p.
- 南安曇郡誌改訂編纂会（1962）：南安曇郡誌，第二巻下，792p.
- 村山磐（1979）：日本の火山，Ⅱ，大明堂，276p.
- 森俊勇・井上公夫・水山高久・植野利康（2007）：梓川上流・トバタ崩れ（1757）に伴う天然ダムの形成と決壊対策，砂防学会誌，60 巻 3 号，p.44-49
- 柳沢孝雄・関通喜・後藤芳孝（2022）：宝暦 7 年（1757）梓川大満水と治水川除普請絵図からみえてきたこと，歴史的水害史料活用研究会編，梓川ものがたり—水害と開発の歴史を絵図から探る—.
- 山浦直人（2021）：集中的に施工された長野県内のアーチ式砂防えん堤，土木史研究講演集，41 巻，p.127-132
- 山形村誌編集委員会（1980）：村誌やまがた，697p.
- 山本茂実（1968）：あゝ野麦峠，朝日新聞社，（1977）：あゝ野麦峠—ある製糸女工哀史—，角川文庫，418p.
- Yamada,T.(1962)：Report of the 1962 activity of Yakedake Volcano. Jour.Fac.LiberalArts and Sci., Shinshu Univ. no.12, 47-68.
- 吉田充・新谷洋二（1998）：城と城下町の建設・形成過程における水辺空間との関わり合いに関する研究，土木史研究，18 号，p.465-474
- 若林秀幸（2003）：明治初年における富山—長野間の新道に関する研究，一開通社関連資料を中心に—，富山史壇，140 号，p.20-38

謝 辞

本冊子は、国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所が令和 6 年から 7 年にかけて、梓川・高瀬川流域の過去に発生した土砂災害について、文献調査や現地調査、地域の皆様からの聞き取りなどを行い、とりまとめたものです。この冊子を通じて、梓川・高瀬川流域の自然と歴史、土砂災害とその痕跡、そして暮らしの安全や国土保全を考えていくきっかけになれば幸いです。

本冊子の作成に際し、長野県立歴史館、松本市立博物館、松本市文書館、市立大町山岳博物館、富山県立図書館などから古文書・絵図・写真などを提供して頂きました。

本冊子の編集にあたっては、長野県立歴史館の笹本正治特別館長、山浦直人名誉研究員、信州大学の原山智名誉教授、大塚勉名誉教授、堤大三教授、産業技術総合研究所 地質調査研究センターの及川輝樹主任研究官などから御指導を受けました。

長野県建設部砂防課・松本建設事務所・奈良井川改良事務所、松本市教育委員会、松本市立博物館、松本市文書館、松本市立中央図書館・本郷図書館、松本市松本城整備課、国宝 旧開智学校校舎、大町市教育委員会、市立大町山岳博物館、富山県立図書館の方々、ならびに、信濃史学会、歴史的水害史料活用研究会、稲核風穴研究会、松本市立大野川小・中学校、松本市安曇支所、安曇公民館、奈川公民館、浅間温泉「梅の湯」、葛温泉「湯宿かじか」ならびに「高瀬館」、高瀬川上流水利運営委員会、NPO 地域づくり工房、北陽建設株式会社、などの地元の方々から多くのご協力を頂きました。

冊子編集のための調査は、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構の皆様にご尽力して頂きました。

ご協力を頂いたすべての皆様に謝意を表します。

令和8年(2026) 3月
国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所
事務所長 林 真一郎

(参考) 松本砂防事務所では、令和3年に冊子「姫川流域 大規模土砂災害史」を発行しています。
本冊子と併せてご活用いただければ幸いです。



災害前，1967. 5. 25（写真左）と災害後，1969. 8. 12（写真右）の葛温泉，
（相模一男氏撮影）



鹿島川猫ヶ鼻川除御普請絵図（浅野貢一氏所蔵）へ加筆

梓川・高瀬川流域 大規模土砂災害史

国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所